

# 麻しん・風しん PCR 検体採取をしていただく際の依頼事項等について

## 1 検体を採取していただく際のご留意事項

### (1) 咽頭ぬぐい液

- ・採取した綿棒を、空の（培地の入っていない）滅菌<sup>注1</sup>スピッツに入れ、柄の部分を折りスピッツの蓋をしっかりと閉めてください
- ・乾燥しないように、スピッツの蓋の周囲をテープなどで巻いてください。

注1) 細菌検査用（培地の入っているもの）のスピッツには入れないでください。

### (2) 血液

- ・抗凝固剤（EDTA 又はクエン酸）入り採血管<sup>注2注3</sup>に全血採取してください。
- ・2 mL 以上 採取をお願いします。

注2) ヘパリン入り採血管は使用しないでください。

注3) 血清分離剤入りの採血管は使用しないでください。

使用可◎：一般血液検査[赤血球数、白血球数、血小板数等]（EDTA 入り） 凝固系検査（クエン酸ナトリウム入り）
使用不可×：生化学検査[タンパク、脂質、電解質]（プレーン管） 血清学的検査[血液型、梅毒反応、感染症血清反応等]（プレーン管）

※麻しん・風しんの検査診断にあたっては、血清学的診断も重要となります。

お手数ですが、貴院から麻しん・風しん IgM 抗体検査を民間検査機関等に依頼いただき、結果が判明しましたら情報提供いただきますようお願いいたします（横浜市衛生研究所では、PCR 検査のみの実施となります）。

### (3) 尿

- ・貴院所有の尿専用スピッツに、10～20mL程度採取してください。

## 2 検体の受領について

- ・貴院から検体採取のご連絡をいただいた後、バイク便（社名：フリーラン）が回収に伺いますので、検体（咽頭ぬぐい液、血液、尿）と検査依頼書をお渡しください。
- ・回収に伺うまで、検体は冷蔵（4℃）で保存をお願いいたします。
- ・大変お手数ですが、検体を採取していただきましたら、御一報をお願いいたします。

## 3 その他

- ・大変申し訳ありませんが、スピッツや綿棒などはご提供ください。
- ・横浜市衛生研究所での検査は、通常約1週間かかります。
- ・結果が判明次第、先生にご報告いたします。